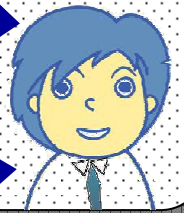




ねっどわーく



H24. 09. 26 No.44

■こんなときだからこそ

今日は、石山先生・沼澤先生、お忙しい中、授業を提供して頂き、本当にありがとうございます。わかってはいたものの、評価の時期にさしかかり授業計画のまささを痛感しています。すみません…。

さて、自分のことで恐縮なのですが、「こんなときだからこそ」というタイトルで、学級経営にかかわる内容を書きたいと思います。

といいますのは、運動会が終わり、高学年らしさを発揮できて、さあ、これからというときに、「いたずら書き」の問題が出てきました。

そこで、「しっかり子どもを見ているようで見ていなかったなあ」と、反省しているのです。自分では見ているつもりでも、行事等・公開研関係云々が頭をかすめていて、「しっかり」が抜けていたなあと。

みなさんは、こんなことはないかと思いますが、子どもたちの表面の言動を見て、さらに一歩踏み込んだ背景までを観る（診る？）ところまでいかないと、やっぱり、子ども理解には遠いなあと。

昨日、学級経営に関する内容でネットを歩いていたところ、素敵で、そして大事にしたいことにぶつかりましたので紹介します。こんなときだからこそ、子どもから目を離さないように自戒したいと思います。

現代の子供が求める（オンデマンド）
「当世教師四訓」
一、いつもそばにいてくれる安心感
二、失敗談を語ってくれる親近感
三、授業に引き込まれる一体感
四、けじめをつけてくれる統率感